

中間棲姫 調教報告書

18 For Adult Only



中間棲姫 調教報告書:

## Preface

今回の本は、一応以前に発行した  
「港湾棲姫 建造報告書」の続きという  
位置づけになっております。

まあ、前を知らなくても全く問題ないですが。

正義の鎮守府も清いばかりでは、  
強力な深海棲艦と  
渡り合っただけとはいけないということですね。

まあ「犯して服従させる」って、  
どないやねんって話ですけど…(笑)

それでは、どうぞ。



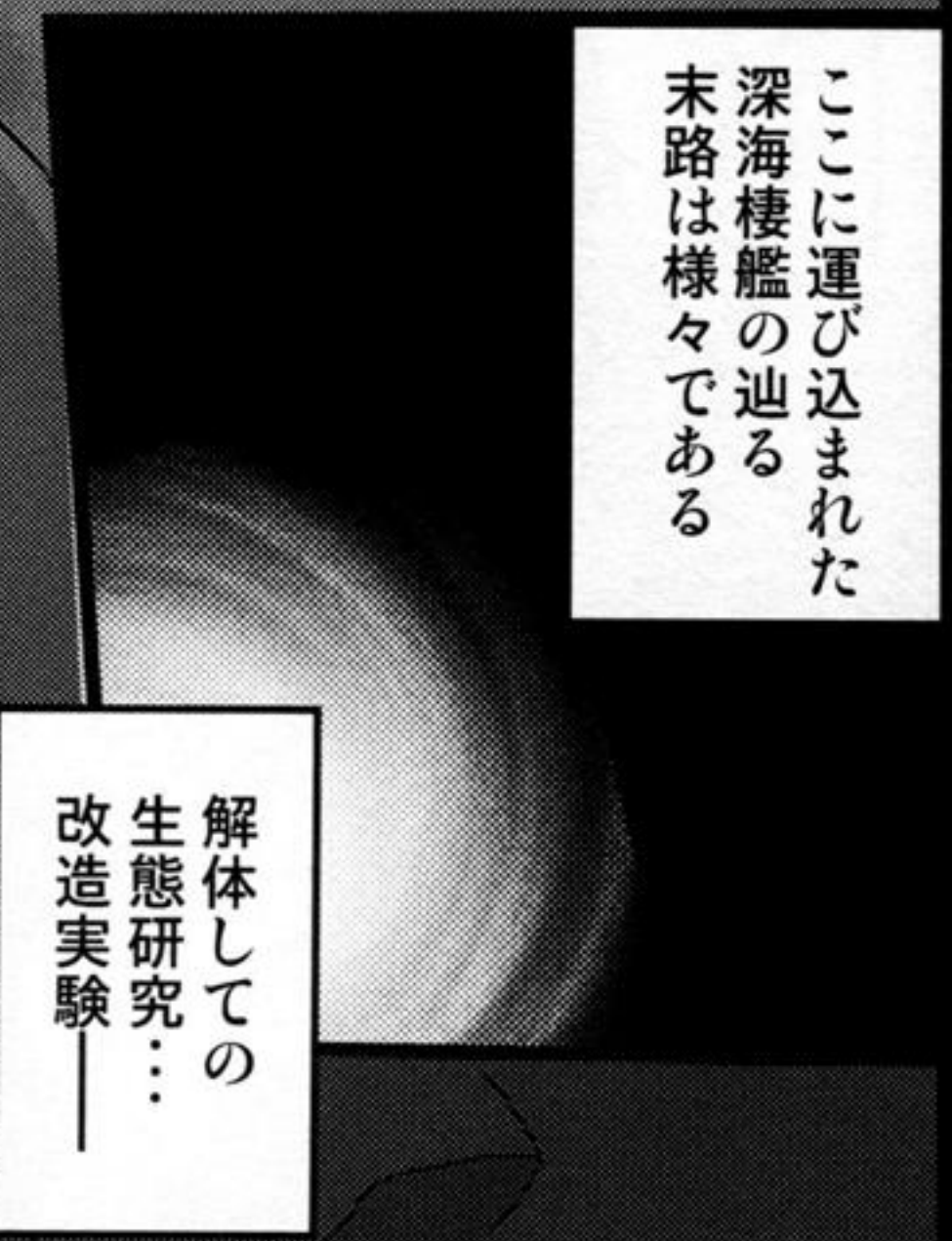
そして――



某日  
帝国鎮守府内  
地下工廠――



ここは 戦場で鹵獲  
した深海棲艦を  
極秘裏に研究  
している施設である



ここに運び込まれた  
深海棲艦の辿る  
末路は様々である

解体しての  
生態研究：  
改造実験――



おや...  
ようやく  
お目覚めか



何処ダ...

ユコは...



ン...

は...



お前の処遇は  
既に決まっている

結論から  
言おう

我々の仲間と  
なり、深海棲艦  
を叩け



馬鹿にシテ  
いるのか...

...ッ



ようこそ...  
我が鎮守府が誇る  
地下工廠へ

大いに歓迎  
しよう...

ズ



こいつの  
ようにな...



ククッ...

威勢のいい  
ことだ...

だが  
お前には  
どんな手段を使っ  
てもこちら側に  
ついてもらう

キャラクター



ば…  
馬鹿ナ…ツ

キサマ…  
何ヲしたツ…



港湾…ツ!?

…!?



クク…  
心配するな

お前もすぐに  
こうなる



本来なら  
俺が直々に相手を  
してやるところだが…

生憎俺は  
色々忙しい  
のでな…



代わりと言つては  
何だが…

面白いものを  
用意してある



4  
クダサイ

4  
カキ

クク：お前のお仲間から造った試作品だ：

仲間同士  
よろしくやるといい

ただし  
あくまで試作品  
だからな：

俺と違って  
加減は出来んし  
何があるかも  
分からん



仲間になるか  
どうかー

返事はまた  
改めて聞かせて  
貰おう



尤も：

話せる状態  
だったら：の  
話だがな

ククク：

クハハハ

ギィ

ギィ

ズ

ズ

あッ

ヤメロ





深海棲艦・中間棲姫(以下『甲』)  
の調教及び  
地下工廠専用・試製調教  
補助艦(以下『乙』)に関する  
報告書よりー

時刻 ○九〇〇  
マルキューマルマル  
調教開始より  
一時間経過

胸部より  
『対深海棲艦用・試製  
媚薬A型』注入ー

この薬に  
さほどの効果はないが、  
非常に長時間の  
催淫効果を有する。

その後の調教・開発  
を円滑に進める為、  
初期導入及び  
継続使用を推奨。



媚薬が身体に充分に  
回った後、陰核への  
直接刺激及び、  
『媚薬B型』の  
注入を開始。



尚、B型はA型に対し  
効果が大きすぎる為  
使用には注意が必要。



現時点まで、  
乙はこちらの想定した  
範囲内での拳動を  
行っており、動作は概ね  
良好と言える。



甲 絶頂一回目。  
充分な前戯と  
媚薬効果により、  
強烈な快感を与える  
ことに成功。



乙 続いて膣内、  
肛門への触手の  
挿入を開始。



甲 再び絶頂ー  
快感は更に増して  
いる模様。

時刻

ヒトナナマルマル  
一七〇〇

甲は乙の激しい  
責苦によって、  
継続的に絶頂する  
も、未だ正気を保持。

深海棲艦であった  
頃の性質が、未だ  
残っている可能性あり。  
要検証——

体内に直接  
媚薬を大量注入、  
甲を弄び始める

また、この頃から  
乙の暴走が始まり、  
制御不能となる

現時点での  
甲の絶頂回数は  
優に百を超える。

耐久力はやはり  
艦娘、通常の深海棲艦を  
大きく上回る結果となる。

時刻

フタマルマルマル  
二〇〇〇

依然、乙の暴走は  
止まず、甲の様子にも  
変化が見られ始める。

目は虚ろに  
なり始め、言語  
障害が発生。

体力、精神力  
共に、限界が  
近づいている模様。

更に、胸部乳腺  
肥大化による  
快感の増大。

絶頂の回数の上昇を確認。  
尚、通常の間人ならば  
この時点で既に  
死亡していると見られる。

本来であれば  
既に調教終了、服従の  
確認を行うが、乙の  
暴走により中断は困難。

現時点で確認  
された甲の絶頂  
回数は二百五十六回  
にも上る――

時刻 一二三〇〇  
乙の暴走、止まずー

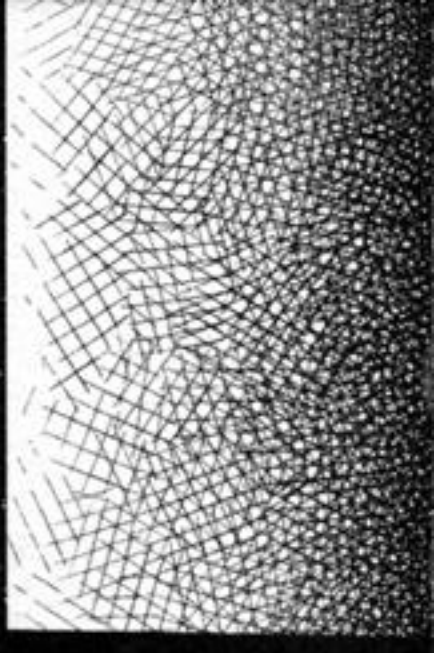
甲の精神は崩壊、  
時折、獣のような  
声を発するのみとなる



暴走、止まず

止まずー





翌朝時刻 〇六〇〇マルロクマルマル  
乙の活動停止を確認



甲の絶頂回数—  
『計測不能』

生命反応—  
『僅かに有り』

乙の暴走については  
早急に原因を  
究明次第、  
修理に当たる

尚—

甲を艦隊で利用する  
件に関しては、これを  
一旦保留とし

可能な限りの修理、  
意識の回復を  
確認し次第…

再度、乙の  
実用実験の  
被験体に使用する  
こととする—



# Postscript

お楽しみ頂けましたでしょうか？  
次回はもっと密度の高いエロを目指します。  
皆様のおち●ち●を、もれなく満足させることの出来る  
漫画をお届けする日を夢見て…。

活動状況は、下記のHPかPixiv、またはTwitterにて  
ご確認頂ければ幸いです。  
またお会いしましょう、良いお年を！

## 奥付

### 中間棲姫 調教報告書

発行日:2014.12.30(コミックマーケット87)

発行:らくがきスイッチ

E-mail:curezombie@gmail.com

URL:<http://www12.ocn.ne.jp/~yo-ki/>

Pixiv:id=122035

印刷:大陽出版(株)様

**2014 WINTER  
RAKUGAKI SWITCH  
KanColle FANBOOK**